

研究課題名	ディープラーニングを用いた MRI 画像再構成による空間分解能や頭蓋内疾患の検出能の向上に関する研究
研究の意義・目的	本研究では、ディープラーニング技術を用いて MRI 画像を再構成し、画像の鮮明さを向上させることで、空間分解能や脳動脈瘤や脳腫瘍などの中枢神経疾患の検出精度がどのように変化するかを、専門医による視覚的評価および AI 解析を通じて検証します。これにより、中枢神経疾患のより迅速かつ正確な診断を可能にし、治療の質の向上を目指します。 本研究では、AIRS MEDICAL に MRI 画像のディープラーニングを用いた画像の再構成を依頼します。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可日～ 2030 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2010 年 4 月～2025 年 1 月に大阪公立大学医学部附属病院の脳外科を受診され、MRI 検査を撮影された方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 年齢、性別、病歴、診断名、MRI 画像 (T2 強調像、FLAIR 像、T1 強調像、拡散強調像、磁化率強調像、造影後 T1 強調像、MR angiography)、撮像機種・撮像パラメータ
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	以下の機関に御提供いただいた情報の画像処理を委託します。 【委託先】 AIRS Medical Japan 合同会社 機関名：公立大学法人大阪 大阪公立大学
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報や MRI などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により下記のクラウドサービスを用いて管理されます。 クラウドサービス提供事業者の名称：Box Japan 情報が保存されるサーバが所在する国の名称：日本 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究は AIRS medical Japan 合同会社より Swift MR™ の無償提供を受け、Swift MR™ による MRI 画像の再構成を無償で委託します。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。

連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 放射線診断科 担当者氏名：大浦 達史 電話番号：(06) 6645-3831
------------	--